

#- 4 Licensed number of users already reached.

所有ライセンストークン数を超過して MOE を起動した場合に現れるエラー

所有するトークン数を超過して MOE が開こうとするため、エラー#1 が出ます。通常、現在使用中の MOE を閉じることによって、エラー #-1 を出さずに MOE を開くことができます。しかしながら使用中の MOE を閉じたにも関わらず、エラー #-1 が出る場合があります。これは、MOE が閉じられたのに、ライセンスサーバーにトークンが戻されないためにこの現象が見られます。

以下のコマンドで使用中のライセンストークンを確認することができます。

```
$MOE/bin/lmutil lmstat -a -c moe/license.dat
```

(\$MOE は MOE のインストールフォルダです。)

具体的例としては WINDOWS コマンドプロンプトなら次のようになります。

```
C:\>c:\ccg\moe\bin\lmutil lmstat -a -c c:\ccg\moe\license.dat
```

たとえば下記のように表示されます。例は 6 トークンのライセンスの場合です。

```
Users of moe: (Total of 6 licenses issued; Total of 6 licenses in use)
```

```
"moe" v2019.09, vendor: chemcompd, expiry: 30-jul-2020
```

```
floating license
```

```
user00 moe38 moe38 (v2019.0101) (MOE38/7788 103), start Thu 8/30 15:19, 3 licenses
```

```
user01 moe38 moe38 (v2019.0101) (MOE38/7788 204), start Thu 8/30 15:24, 3 licenses
```

user00, user01 はユーザー名です。

この例では 2 つ MOE が起動しています。たとえば 2 つ目 (user01) のほうを閉じたにも関わらず、ステータスが表示されている場合、そのクライアントマシンがライセンスをつかんだままの状態になっています。

そこで下の user01 の MOE をライセンスを無効にするには lmutil lmremove コマンドを入力します。

```
書式 : lmutil lmremove [-c license_file_list] feature user user_host display
```

上の例の場合、次のように入力します。

```
$MOE/bin/lmutil lmremove -c $MOE/license.dat -h moe MOE38 7788 204
```

\$MOE は実際のフォルダに合わせて入力してください。

```
例 : c:\ccg\moe\bin\lmutil lmremove -c c:\ccg\moe\license.dat -h moe MOE38 7788 204
```

下記のように表示されたらライセンスを無効にすることができました。

lmutil - Copyright (c) 1989-2018 Flexera All Rights Reserved.

これは MOE はライセンスサーバークライアント間通信を一時的に切るのと同じ効果があります。

もし MOE を使っているマシンに対して操作した場合、しばらくすると再度クライアントからサーバーに接続しようとするので、この点ご注意ください。